

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製造者情報】

会社名 : Bona AB
住所 : Box 210 74
SE-200 21 MALMO, SWEDEN

電話番号 : +46-(0)40-38 55 00

【輸入者情報】

会社名 : 株式会社オカベ
住所 : 〒939-1701 富山県南砺市遊部151-3
責任者名 : 岡部 学 作成者 : 岡部 学
電話番号 : 0763-52-4069 FAX番号 : 0763-52-4038

作成 : 平成 21年 10月 22日

製品名 : Bonaポリッシュ

製品説明 種類 : 水性ポリッシュ

主な用途 : 水溶性フロアポリッシュ

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

危険な含有成分 :

成分名	CAS	重量%	特記事項
2- (エトキシエトキシ) エタノール	111-90-0	1-10	化審法2-422 労働安全衛生法通知物質 EU分類 Xi;R36

※EU分類の詳細については、16.その他の情報を参照

・環境ホルモン疑惑物質

環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（65物質）を使用していない。

・P R T R法

非該当。

3. 危険有害性の要約

最重要危険性

人の健康に対する有害な影響

- ・高濃度の上記を吸入した場合や長時間さらされた場合は、その程度によって頭痛、めまい、嘔吐や意識喪失などを起こす。
- ・皮膚に対して刺激性がある。
- ・目に対して刺激性がある。
- ・飲み込んだ場合は、その程度によって頭痛、めまい、嘔吐や意識喪失などを起こす。

環境への影響

- ・大量の場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び科学的危険性

- ・燃焼域で着火する。

分類の名称（分類基準は日本方式）

- ・分類基準には該当しない。

その他

- ・危険な調剤の分類、包装、表示に関する欧州議会及び欧州理事会指令(1999/45/EC)によれば表示不要

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに使用をやめ、その場を離れ暖かくして新鮮な空気を吸わせ休ませる。何らかの異常を感じたときや意識のない場合は、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 流水でよく洗い流す。衣類や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を石鹸等で洗浄して流水でよく洗い流す。何らかの異常を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。溶剤や塗料用薄め液は用いない。
- 目に入った場合 : できるだけまばたきせず、直ちに大量の流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで暖かいところに休ませ、直ちに医師の診断を受ける。
- その他 : 使用中、目に異常を感じたり、咳き込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、流眼、うがいをする。その後、直ちに医師の診断を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品安全データシートを持参する。

5. 火災時の措置：

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般用消火剤が使用できる。
- 消火方法 : 火災時、着火の可能性があるので周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。移動が出来ない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では保護具を着用する。

6. 漏出の措置

- 人体に対する注意事項 : 製品が直接人体に触れないよう、ゴム手袋、保護眼鏡等の保護具を着用した後、漏出量が多い場合には土のうなどで流出を防いだ上でポンプ等を用いて吸い取る。
- 環境に対する注意事項 : 本製品は水溶性であることから、本製品が雨水溝、河川、海上等に流出した場合には事実上処理が不可能となるため、下水道を除く公共水

- 域への本製品の流出は絶対に避けること。
- 除去方法 : スクイージーなどを用いて、出来る限り空容器に回収する。漏出量が多い場合には土のうなどで流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。また少量の場合は、ウエス、モップ、吸着マット、砂等でできるだけ素早く吸い取った後、十分に水洗いすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い :
- ・用途以外には使用しない。
 - ・作業現場への作業関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - ・作業エリアで喫煙や飲食は厳禁とする。
 - ・作業中、及び作業後は換気をよくすること。
 - ・保護眼鏡と帯電防止機能のある保護手袋、及び適切な帯電防止機能のある作業衣を必ず着用すること。
 - ・容器の栓を開けるときや移し替える場合には、液をこぼしたり、飛び出さないよう慎重に行う。また容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。
 - ・塗布直後の床は、滑りやすいので十分に注意すること。
 - ・蒸気やミストは極力吸い込まないこと。
 - ・バクテリア汚染を避けるため、一度容器から出した液は、もとの容器に戻さないこと。
 - ・使用後は手をよく洗い、クリームで手入れすること。またうがいを十分に行う。
 - ・他の塗料等との混合使用は絶対に行わないこと。
 - ・誤飲の恐れのある飲料用の容器等には絶対に小分けしない。
 - ・サンディング後の削り粉は、そのままポリ袋などに入れておくと発火する可能性があるため、必ず水を十分かけて湿った状態にしてから、密封して処分する。
 - ・容器は内容液をできるだけ使い切って廃棄すること。
- 保管 :
- ・直射日光、40℃以上、多湿、及び凍結の恐れのある場所を避けて、密閉して保管する。
 - ・密栓をして倒さないで保管する。
 - ・子ども手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度、許容濃度

物質名	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（産衛学会）	ACGIH
2-(2-エトキシエチル)エタノール	未設定	該当せず	該当せず

- 設備対策 : 必ず換気を良くして使用すること。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具 :

呼吸器用の保護具	: 不要。ただし換気が不良な密閉空間で製品の蒸気濃度が高い場合は、適切な呼吸保護具を着用する。
手の保護具	: ゴム手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: スリッパ防止効果の高い安全靴や、帯電防止機能を有する長袖の適切な作業衣を着用する。

9. 製品の物理／化学的性質

物理的状态

外観	: 乳白色半透明液体
pH	: 8.7
引火点	: 測定限界以上
燃焼点	: 測定限界以上
比重(20℃)	: 1.01
沸点	: 100℃
溶媒に対する溶解性	: 水に容易に分散する。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱条件(屋内、常温)においては安定である。
反応性	: 通常の取扱条件においては、危険な反応を起こす恐れはない。
避けるべき条件	: 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
避けるべき材料	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
局所効果	: 吸入した場合 <ul style="list-style-type: none">・弱い刺激性がある。 皮膚に触れた場合 <ul style="list-style-type: none">・弱い刺激性がある。(皮膚腐食性はない) 目に入った場合 <ul style="list-style-type: none">・弱い刺激性がある。 飲み込んだ場合 <ul style="list-style-type: none">・有害性は低い
感作性	: データなし
慢性毒性	: データなし
長期毒性	: データなし

12. 環境影響情報

* 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水等が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

残留性／分解性 : データなし

生物蓄積性 : データなし

土壌中の移動度 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 下水道以外河川等、公共水域への輩出は絶対に避ける。
・一定容器にとりまとめ、廃棄物処理免許を持った処理業者に委託して処理する。

汚染容器、包装 : 使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。
国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制 : 特になし

国際規制 : 国連番号

・なし

国連分類

・国連勧告の定義上危険物に該当しない。

特別の安全対策

・車両等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意事項やイエローカードを携帯させる。

・輸送前に容器が密閉されているか、又は液漏れがないか確認する。

・容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特にビン又は缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めておく。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

化学物質管理促進法（P R T R法） : 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 : 該当する 2-(2-ヒキヒキ)エタノール

表示物質 : 該当しない

有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

特定化学物質等障害予防規則 : 該当しない

消防法 : 該当しない

危険物船舶輸送及び貯蔵規則 : 該当しない

悪臭防止法 : 該当しない

水質汚濁防止法 : 該当しない

16. その他の情報

EUリスク警告の詳細

R36 : 眼に刺激性がある。

EU危険有害記号の詳細

Xi : 刺激性

主な参考文献

- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE） 公表データ
- ・社団法人日本塗料工業会 GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック [混合物（塗料用）]
- ・社団法人日本塗料工業会 モデルMSDS・モデルラベル事例集[混合物(塗料用)]
- ・国際化学物質安全カード（ICSC）

【 注意 】

本データシートの記載内容は、最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、また、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
混合物に使用している化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには最新の注意が必要です。
当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。